

第 2 次 案 内

第64回 北海道特別支援学級教育研究連盟全道大会 オホーツク大会 全日本特別支援教育研究連盟北海道地区研究集会

第51回 オホーツク地区特別支援教育研究大会 北見市大会



【大会テーマ】

「一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育の展開」

(副主題)「児童生徒の実態に応じた指導・支援の充実を目指して」



ごあいさつ

オホーツクブルーの空と海が一段ときれいな時期を迎えた北見市です。皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より、特別支援教育推進のためのご尽力に心より敬意を表します。

さて、この度、第64回北海道特別支援学級教育研究連盟全道大会を「ひと・まち・自然きらめくオホーツク中核都市」の北見市で開催する運びとなりました。これまでインクルーシブ教育システムの構築に向けて特別支援教育を推進してきた各学校では、今年4月より施行となった障害者差別解消法により、何をしなくてはいけないのか検討が加えられ、「基礎的環境整備」や「合理的配慮」等についての研修も深められていることと思います。私たちはこれまでも、障害による学習上または生活上の困難を克服するための教育活動に努力してきました。これからも、目の前にいる障害のある子どもに対して、適切な指導や支援の充実に努めていかなければなりません。

本大会では、北見市の特別支援学級の特色を活かした実践を公開し、参加者の皆様との協議を通して学習を深めたいと考えます。更り多き研究会のために、皆様のご参加を心よりお願いし、ご案内申し上げます。

第64回 北海道特別支援学級教育研究連盟全道大会 オホーツク大会
全日本特別支援教育研究連盟 北海道地区研究集会
第51回 オホーツク地区特別支援教育研究大会・北見市大会
大会実行委員長 硯 将隆（北見市立三輪小学校）

- ◇主 催 全日本特別支援教育研究連盟 北海道特別支援学級教育研究連盟
オホーツク特別支援教育研究会
- ◇主 管 北海道特別支援学級教育研究連盟全道大会オホーツク大会実行委員会
- ◇後 援 北海道教育委員会 北海道小学校長会 北海道中学校長会 北海道特別支援学校長会
北海道特別支援学級設置学校長協会 北海道特別支援教育研究協議会 オホーツク教育局
一般社団法人北海道手をつなぐ育成会 オホーツク管内教育委員会協議会 北見市教育委員会
オホーツク管内小中学校教頭会 北見市PTA連合会 網走西部地区PTA連合会
網走中部地区PTA連合会 網走東部地区PTA連合会 大空町教育委員会 美幌町教育委員会
津別町教育委員会 斜里町教育委員会 清里町教育委員会 小清水町教育委員会
訓子府町教育委員会 置戸町教育委員会 佐呂間町教育委員会 遠軽町教育委員会
湧別町教育委員会 滝上町教育委員会 興部町教育委員会 西興部村教育委員会
雄武町教育委員会 網走市教育委員会 紋別市教育委員会
オホーツク地区手をつなぐ育成会連絡協議会 北海道新聞社 読売新聞北海道支社
朝日新聞北海道支社 毎日新聞北海道支社 北海道通信社 福祉新聞北海道総局
札幌テレビ放送 北海道文化放送 北海道放送 H T B北海道テレビ テレビ北海道

大会実施要項

◇大会期日	平成28年9月16日（金）・17日（土）	
◇大会会場	北見市民会館	北見市常盤町2丁目1-10
◇授業会場	北見市立西小学校	北見市とん田東町688
	北見市立北小学校	北見市寿町6丁目1-20
	北見市立中央小学校	北見市中央町3-51
	北見市立小泉小学校	北見市春光町6丁目4-51
	北見市立高栄中学校	北見市高栄西町10丁目12-1
	北見市立北中学校	北見市美山町南10丁目31-1

※北海道北見支援学校（オプション参加）北見市川東229-1

◇大会日程

【1日目】9月16日（金）

受付	公開授業	休憩	研究協議	移動 受付 昼食	開 会 式	準 備	記念講演	休 憩	分科会
----	------	----	------	----------------	-------------	--------	------	--------	-----

9:00 9:30 10:20 10:30 11:30 12:40 13:10 13:20 15:00 15:10 16:00
※道特連各ブロック事務局長会議 16:30~

【2日目】9月17日（土）

受 付	分科会	閉 会 式
--------	-----	-------------

9:00 9:15 11:50 12:00

◇記念講演

演題 「通常学級に在籍する発達障害がある子どもへの認知特性に応じた指導法」

講師 月 森 久 江 （東京都杉並区立済美教育センター指導教授）

略歴 東京都杉並区立済美教育センター指導教授。早稲田大学大学院教職研究科非常勤講師を兼任。元杉並区立中瀬中学校通級指導学級担当。日本女子体育大学体育学部卒業後、公立中学校（通常）で保健体育科の教師を務めながら、教育相談（都研上級スクールカウンセラー研修修了）やLD（学習障害）についての研修や研究を重ねる。日本LD学会認定の特別支援教育士スーパーバイザー、日本教育カウンセラー協会認定上級教育カウンセラー、ガイダンスカウンセラー。文部科学省「小・中学校におけるLD・ADHD・高機能自閉症への教育支援体制の整備のためのガイドライン（試案）」策定協力者として特別支援教育コーディネーター部門担当リーダーを務める。第40回博報償特別支援教育部門の個人賞、ならびに文部科学大臣奨励賞受賞。

《公開授業》 9月16日(金) ※授業開始 9:30～(支援学校は10:00～)

公開授業 ①	北見市立西小学校 (自閉症・情緒障害学級2年)	
	算数科 「のこりはいくつ？」 問題解決的な授業を通して、子どもたちが生活の場面でも自ら課題をとらえ、解決していく力の育成を目指します。	
	指導教諭	山本 仁史
公開授業 ②	北見市立北小学校 (知的・自閉症・情緒障害学級3年)	
	自立活動 「杉の子タイム」 多種多様な個性をもつ8人の子どもたちが、一緒に学習する時間です。 楽しさを共有できる活動の中で人とのかかわりの幅を広げていく学習をしていきます。	
	指導教諭	上谷 直也 齋藤 文枝
公開授業 ③	北見市立中央小学校 (自閉症・情緒障害学級3年)	
	算数科 「10000より大きい数」～ ICT 機器を活用しながら～ 本児童は次年度から通常の学級への転籍を目指しています。キャリア教育の視点に立ち、計画・実践しています。子どもたちの夢や願いに向かって！	
	指導教諭	大平 博司
公開授業 ④	北見市立小泉小学校 (知的・自閉症・情緒・病弱・肢体不自由障害学級1～4年)	
	自立活動 「チャレンジ！いず mix！」 体を動かす活動を中心とし、自分で目標を設定するチャレンジタイムもあります。 学年の違うそれぞれの子どもたちが生き生きと参加できる学習を目指します。	
	指導教諭	原田 信子 山中 亜湖 幸坂イチ子 梁瀬 真琴
公開授業 ⑤	北見市立北中学校 (肢体不自由障害学級3年)	
	自立活動 「自分のイメージを形にしよう」 (交流学級内での学習) 交流学級の美術の授業(自画像を描こう)に参加します。 自立活動として自分のイメージを形にしていくことを学習します。	
	指導教諭	藤森美佐子
公開授業 ⑥	北見市立高栄中学校 (知的障害学級1～3年)	
	自立活動 集団活動を通して 知的障害学級の1～3年の生徒が理科の実験を行います。そのために、方法や手順、自分の役割を理解し、協力して一つの課題に挑戦していく活動です。	
	指導教諭	山内 啓嗣 小野寺幸司
公開授業 ⑦	北海道北見支援学校 (小学部 中学部 高等部) ※オプション参加	
	小学部：生活単元学習と遊びの指導 中学部：作業学習 高等部：体育 10:00 ～ 学校見学等 10:30 ～ 各部の普段の授業の様子をご覧ください。	
	指導教諭	各担任

第1分科会	提言者1	桐田 結佳 教諭	（札幌 札幌市立中央小学校）
	タイトル	生活の中の基本的なルールの構築 ～自発的な姿を目指して～	
	概要	例えば、毎朝時間を守って登校することが難しい子。何か困ったことがあると固まってしまう子。気持ちの安定とポジティブな見通しを軸に、支援の在り方を皆さんと共に考えていけたらと思います。	
	提言者2	北城 勇太 教諭 三野宮誠一 教頭	（北上川 中川町立中央小学校）
	タイトル	基本的生活習慣の確立に向けた一貫した指導を目指して ～関係機関との連携を通じた試み～	
	概要	排泄の自立や清潔面、食事や睡眠等、児童の基本的生活習慣の確立に向け、学童保育所や病院、民生委員等の関係機関との連携を図りつつ、一貫した指導を目指した実践について発表いたします。	
助言者	高橋 裕 氏（札幌大学 特命教授） 千葉 聡美 氏（北海道北見支援学校長）		
第2分科会	提言者1	宮下 保之 教諭	（オホーツク 遠軽町立安国中学校）
	タイトル	金銭の管理、計画的な使い方について	
	概要	施設から通う3年生の A さんは、将来の生活について考えています。施設（保護者）と連携をとり、ライフスキルの一つとして金銭管理を学ぶ取組を始めました。将来の自立に向けた支援について、多くの助言をいただきたいと思っています。	
	提言者2	橋本くみこ 教諭	（中上川 当麻町立当麻中学校）
	タイトル	教科、領域連携による職業シミュレーションと金銭感覚の育成	
	概要	一人での買物経験がほとんどなく、お金の概念が定着していない知的障害のある生徒に対し、職業シミュレーションを通して金銭感覚を育成する学習を行いました。ご助言いただければと思います。	
助言者	坂上 俊樹 氏（道都大学 特任教授） 丸山 芳孝 氏（発達障害者支援道東地域センターきら星 センター長）		
第3分科会	提言者1	齋藤 一 教諭	（根室 標津町立標津中学校）
	タイトル	標津に生きる生徒を育てる	
	概要	地域にある教材を生かし、地域の一員として生徒一人一人が求められている役割を果たし、認められ、役に立つ喜びを感じる経験が地域に根付く人間を育成できると考え、必要な指導内容と支援の方法について研究しました。	
	提言者2	平塚 貴広 教諭	（宗谷 稚内市立稚内南中学校）
	タイトル	通常学級から特別支援学級へ ～本人・保護者との関わり、校内の連携～	
	概要	中学校に進学し、通常学級に在籍していた A 君がその後、特別支援学級に在籍変更をしました。そこに至るまでの経過やその後の様子についてお伝えしたいと思います。	
助言者	藤根 収 氏（北海道札幌養護学校長） 二宮 信一 氏（北海道教育大学釧路校 准教授）		
第4分科会	提言者1	松木 善一 教諭 草鹿あゆみ 教諭	（オホーツク 紋別市立渚滑中学校・渚滑小学校）
	タイトル	小中連携の取り組みを通して	
	概要	アスペルガー症候群の現在中学2年の男子生徒です。小・中学校での様子や保護者との連携、そして生徒の変化や成長の様子について発表し、今後の支援のあり方について考えていきたいと思っています。	
	提言者2	板橋 智子 教諭	（留萌 増毛町立増毛中学校）
	タイトル	保護者との連携	
	概要	増毛中は全校生徒合わせて100人規模の学校。生まれた時からずっと一緒に環境で育ってきた生徒達とその保護者達。現場の具体的な事例を交えながら、保護者との連携についてみなさんと一緒に考えていければと思っています。	
助言者	和田 隆幸 氏（道特連元理事長、元札幌市立琴似小学校長） 池田 英司 氏（オホーツク教育局教育支援課義務教育指導班 指導主事）		

《お知らせ》

○大会の参加・宿泊・弁当等の申し込みと費用の納入について

- ・別紙の申込用紙に必要事項を記入の上、東武トップツアーズあてにFAXにてお申し込み下さい。

☆締切日：平成28年 7月 22日(金)

○バス移動について

- ・16日(金)、北見駅裏より授業公開会場校の往復に無料バスを運行します。
ご利用の方は、別紙申込書のバス希望欄にてお申し込み下さい。

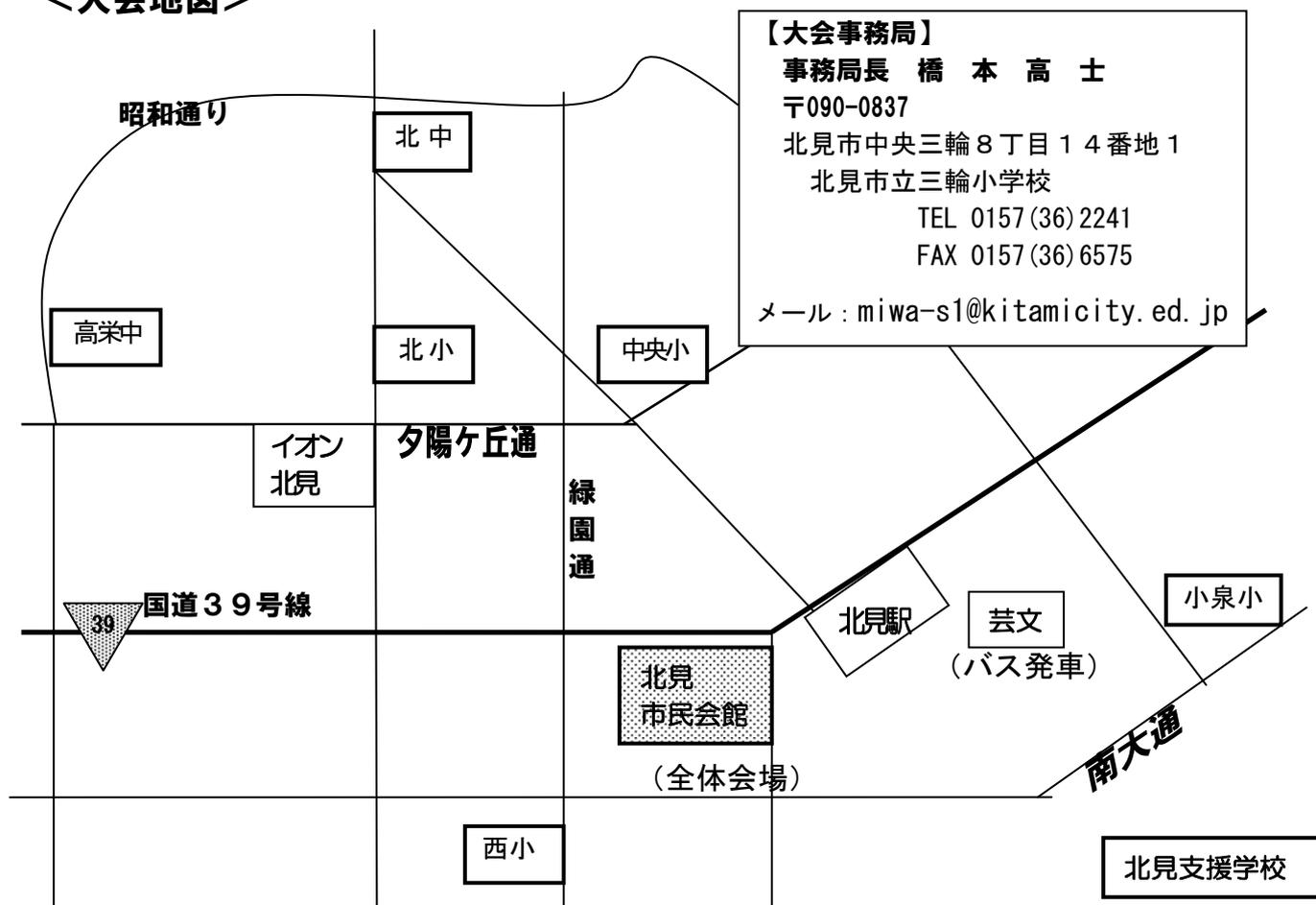
○授業公開会場校及び大会会場への自家用車での移動について

- ・授業公開会場校の駐車場には数に限りがありますので、できるだけバスをご利用下さい。(北見駅裏の芸術文化ホール駐車場に停めて、バスに乗っていただく形もよいかと思われます。)
- ・大会会場(北見市民会館)に駐車場はありますが、特に市内や近郊で自家用車にて参加の方はできるだけ乗り合わせや駅裏芸文駐車場に駐車していただくと助かります。

○資料参加について

- ・学校事情等により大会に参加できない方は、
大会要項・指導案集・分科会のレポートを2,000円で購入できます。
希望する方は、7月22日(金)までに各地区の事務局長へお申し込み下さい。

<大会地図>



※9月16日(金)朝のバスは駅裏、芸文(北見芸術文化ホール)横から発車します。